

令和4年1月11日（火）

9年生激励

学校長 下村昌弘

- 9年生の皆さん、こんにちは。
- 先ほどは、PTA会長の市丸様から「感謝」の気持ちを持つことが合格の秘けつだということ、趙勇様からはいつになく熱い思いで「今がまさに『発達』の時。

好きなことにしっかり苦しんでほしい」と檄を飛ばしていただきました。



- そこで、私の方からも一言、皆さんに激励の言葉を贈ります。
- それは「艱難汝を玉にす」という言葉です。皆さん聞いたことがありますか。「艱難」は「困難」よりももっと困難な状態です。全体の意味は「人間は苦勞・困難を乗り越えることによってりっぱな人物になる」ということです。
- 受験で人生のすべてが決まるわけではありません。たとえ失敗したとしても、いつでもやり直しはできるし、合格しても結果的にいいことにつながらない場合もある。
- そういう意味で、受験で大事なものは結果というよりもその過程だということになります。今、皆さんは受験勉強真ただ中。苦しいですか？ 苦しんでいる人はOK。それでいいのです。苦しんでない人。しっかり自分を追い込んで「艱難」を経験してください。
- やはり受験はつらい体験なだけに人を成長させてくれるものなのだと思います。

- そして、その戦いは個人の戦いでありながら団体戦でもあります。クラスの仲間、先生、そして家族、皆さんの周りには支えてくれるたくさんの方がいます。その方々に感謝の気持ちが芽生えたとき、あなたは成功します。
- 多久に生まれ育った君たちは幸せです。多久聖廟がある。多久翁さんがいる。まだお参りしていない人、ぜひ足を運んでください。そして今日は多久翁さんにしっかり祈願してください。皆さんは決して一人ではない。
- どうか安心して、残された日々全力を尽くして、後悔のない受験生としての生活を送ってください。
- 健闘を祈ります。頑張れ！

